高橋副總裁ヘ　十二月廿二日午後二時
發信

第二十一号

政府ヨリ左ノ通リ發電命セラレタリ
十一月廿四日ノニユーヨルク、トリビユーン週報ニ英独佛
三國共同シテ露國ノ政治並ニ財政ニ関シテ援助
ヲ與フルコトヽシ而シテ一方英國ノ同盟國タル日本ノ公債
募集ニ對シテハ欧米市場ノ金融業者國ヲ門
戸ヲ閉鎖スルトノ記事有之井上伯ハ兼テヨ
リ桑港學童問題其他内外ノ状况ニ深ク注意
シ居ラルヽ所右ノ記事ノ如キモ一見セラレテ彼ノ公債ノ

借換ハ四分利ヨリ五分利ノ間ニテ多少[illegible]理ニテ
モ一日モ早ク實行スルコトヲ得策ナランカトノ考
ヨリ有スル旨ヲ示サレタリ仍テ外務大臣ノ意見
ヲ求メタルニ外務大臣ハ御國ト關係及本國ト
ノ外交上ノ案件ハ順當ニ進ミツヽアリ又右記事
ハ獨乙又ハ露國ノ手筋ヨリ出シモノト察セラ
ル故格別重ク置サレ度併シ尚高橋是清氏
ニ於テ經濟界ノ側ヨリモ充分注意ヲ請ヒシ旨
答ヘラレタリ就テハ貴君ハ充分事情ヲ探察
シ貴君ノ所見ヲ報告アリタシ何レニシテモ來春
ニハ是非共六分利付公債借換ノ斷行ヲ要ス
ル事情アルコトハ既ニ御承知ノ通ナリ

高橋副總裁ヘ

(58)

高橋副総裁へ

十一月二十三日午後七時

発信

第二十二号

政府ヨリ左ノ通来電 秘第 号ヨリ

当方来電第十二号ヲ以テ四十一年度予算概

数ハ本行ノ通知致置タルガ略確定セシ調

査ニ依レバ歳入経常部四二三、七二〇、〇〇〇円

余臨時部一九五、三四〇、〇〇〇円余合計六一九、〇六〇、

〇〇〇円余 歳出経常部四一五、八四〇、〇〇〇円余

臨時部一九九、七二〇、〇〇〇円余

合計六一五、五六〇、〇〇〇円余ニシテ差引三、五〇〇、

〇〇〇円ノ歳入超過ヲ生ズ右ハ関東都督府

及樺太政廳経費等追加財源ニ充ツル

差ナリ歳入ノ内通常歳入四四九、四〇〇、〇〇〇
円餘ハ事業公債募集金三一、二〇〇、〇〇〇円餘
前年度繰餘金約三〇、〇〇〇、〇〇〇円臨時事件費
剰餘金約一〇八、三〇〇、〇〇〇円餘ナリ　前案中
従前ノ豫算ヨリ多少増加シタルハ京義鐵道
費用其他調査未了ノモノヲ追加加算
シタルニ因ル

高橋副総裁ヨリ

十二月二十四日午前七時

受信

第十八号

紐育トリビユン報道ヲ根ナリ目下独逸官民

意嚮宜敷掛合ニ不及五分利付公債ナラバ

二三月頃ニハ出来見込尚一月六日独逸ヨリ

仏国ヘ参一月十日頃ニハ倫敦ヘ帰リ見込

電報ヲ致

日本銀行

[illegible]大銀行

60

松尾 [illegible]

[illegible]

(39.12.21)

緘

[illegible]

[illegible]

1. [illegible]

[illegible]

一、七年間不倦修行セサルニし
有ハ御待ちし

一、財政御取ハ之財政上ノ事ハ下間
之く

一、代々不倦ノ工夫ヲ凡ムモノアルモ
未上ケサル下

一、農業[illegible]用フルハ出精ニ見ルコト

一、紀綱ヲ正ス 財政御取ハ〔収〕
ラカニスルコト

一、農業振興 お留節ナル 〔内々〕

一、内外法令合化ス

一、減俸丞相ナル

一、蔦葉通用ラリ當いたし

一、紅緑ヨリ請取書付候ヘキ事 出来候ニ見分ニテ

ラカニエルフト

一、画書付お出し致すへく候 同所ニ而

一、事 陶器注文致し候

一、機械買入候様之事

謹啓 此日ハ殊暑ノ際 益々御清栄
奉賀候 扨此日迄ニ出候ハ
尚遅延ニ付 ニテ拙著ニ於
少シ以前五年間ニテ 又物語
ニテ一ノ条ハ 誤ニ 新タナル事
其處ノ事ニ付 尚共 募集
大正ノ役務ノ上ニハ出来マセン事ノ
生セシモノ殊ニ 郷土ノコト 許サレ
五ケ年 先キ迄ノ事ヲ 募集
ノ条件ト 確言シ 旨ヲ 物語セシ
帰リ 追ヒ 随テ 云々
ナラシカ 十艘ハ 首相 或ハ
在ルモノ 閣下ノ思召
シテ七 如ク 差シモ

左様ニ相成リ候テハ甚不ノ思召ト
シテモ御承知ニ無之しも有之
又ハトハ申候得共[illegible]穏当
来ル十日ヨリ[illegible]
ト云テ[illegible]
[illegible]
右ハ何カ
[illegible]
[illegible]
右ハ
上[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
廿七日
臣具

[illegible]

[illegible]

某茶ヶ様ハ比し小[illegible]

[illegible]尊き様ハ甘んし[illegible]

[illegible]

右ハ
[illegible]参上[illegible]相願十

上成候得共内実[illegible]

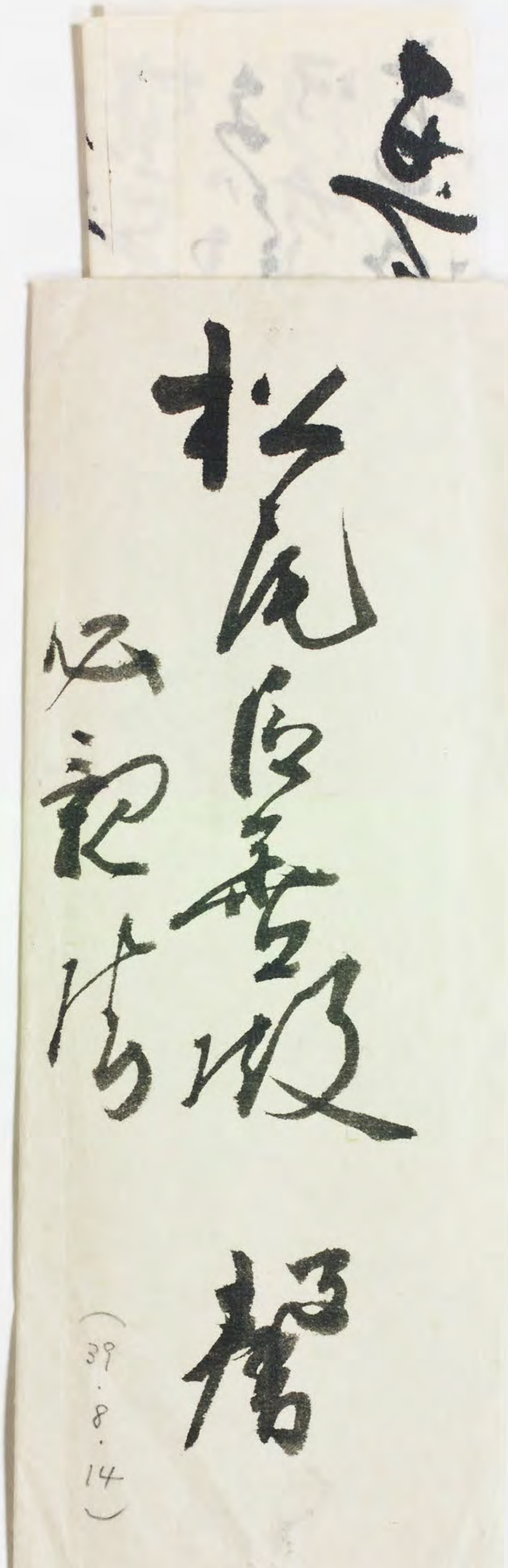
在々相成[illegible]

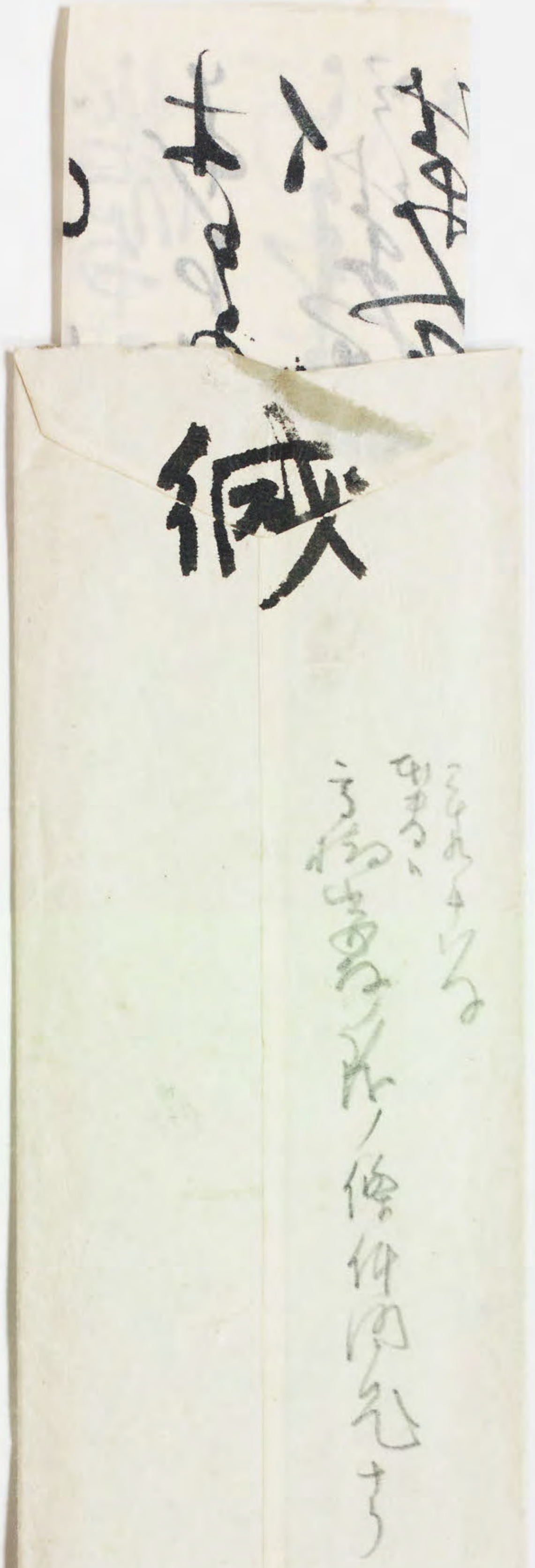
生御目剤相成[illegible]

、可相成

[illegible]七日　[illegible]

井上[illegible]


(39.8.14)

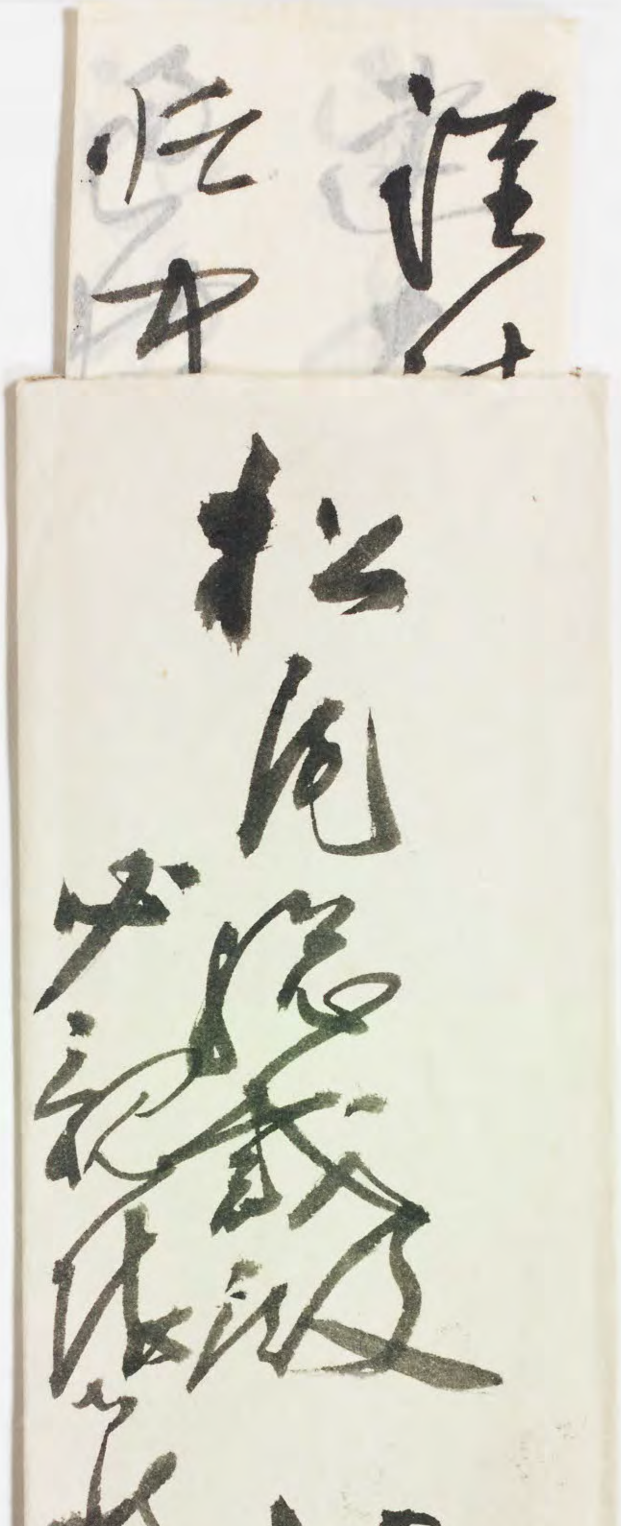

緘

[illegible]

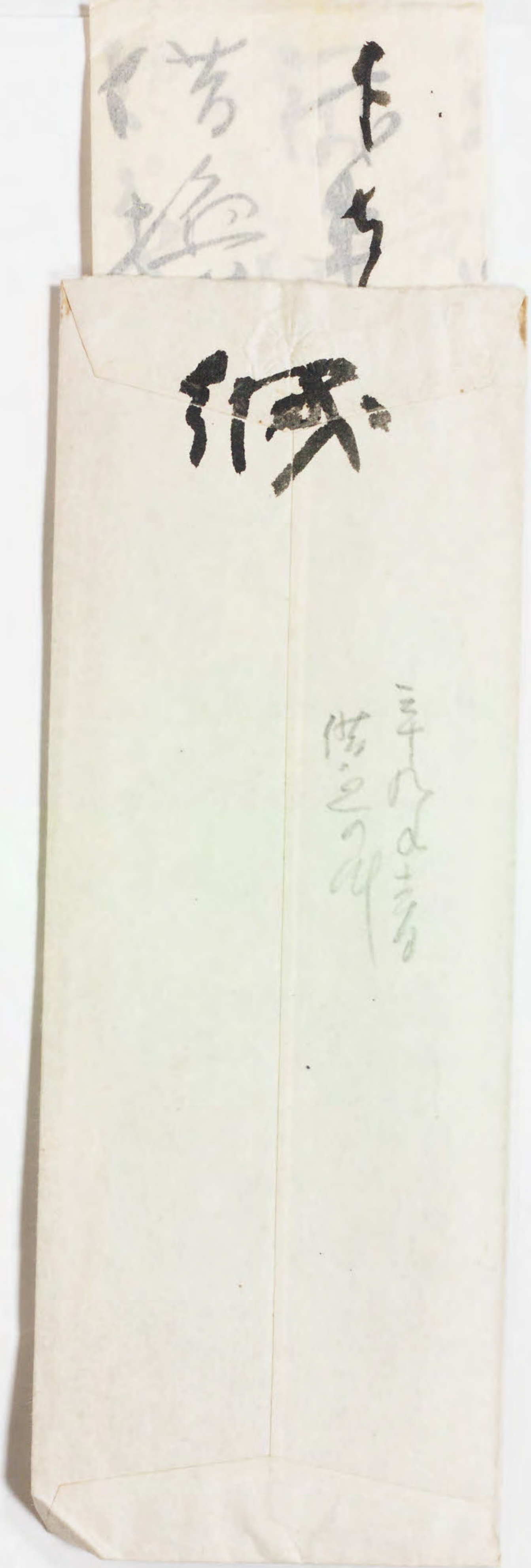
近来炎暑之
候ニ御座候不係毎夜如
集会ニ続キ日々筆毒
[illegible]
高橋君ニ而[illegible]ニ
来る[illegible]一晩ニ[illegible]
[illegible]ニ[illegible]
世話[illegible]ニ大義[illegible]
同流会ニ上ル一[illegible]
ニ写[illegible]
ニ[illegible]上ル[illegible]桐
断[illegible]
[illegible]上文之[illegible]
勝手[illegible]後如
可[illegible]

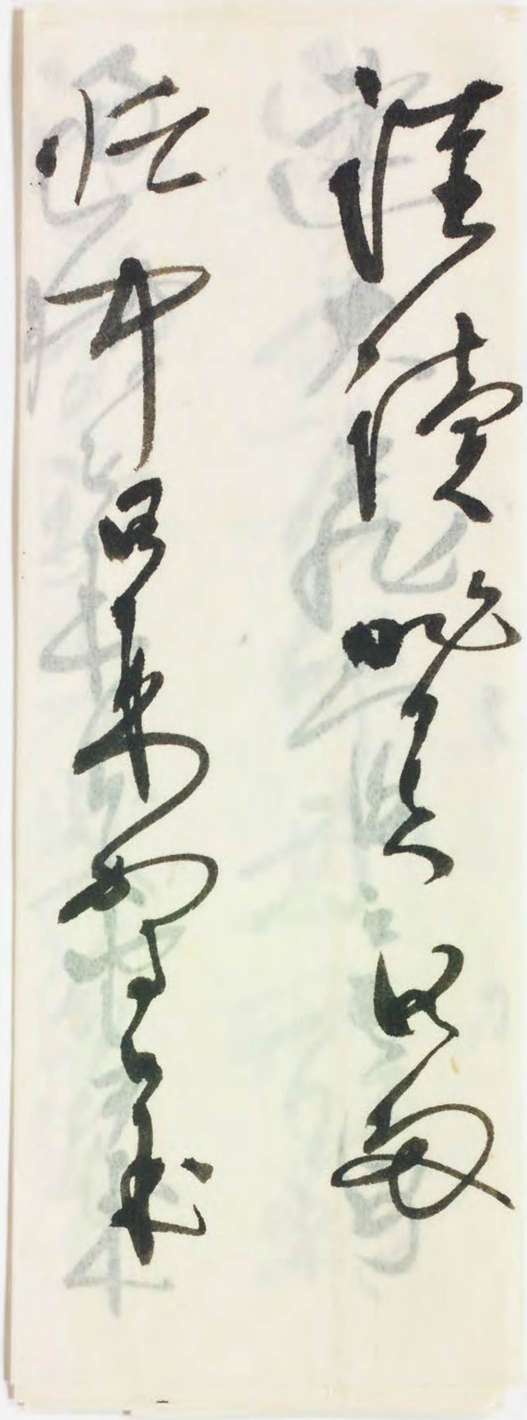
何ナル事歟ニテ正之儀澤
偏ヲ得スヘキカホトノ問
題議論ニ及ヒ候任者
又ニ筆記而已ニテ定メ
テ池田良之君之心
得之程ハ難量実ニ
但官書研究會
件御写都會ニ罷リ出
在池田日々ニ出席
致考究ニ御座候
日都合宜シク候
日ニ於テハ之ニ無之
又一昨日上京之節承リ得
来往ノ財政上ノ事
テ未タ不ニ若干餘

テ未来ニ若無之候
リ詳ニ出タル于信自
吾有志者モ是ノ識覚
ニ精査スル方有相見
大抵ハ目来ニ応接モ
之ニ趣上日決ズ迄モ
致方ノ無之地ヲ為ヨ
得ニキヲモ此ニ[illegible]
口釋ナル之便ニ[illegible]
甚可目親師ト申[illegible]
先ハ用事迄
匆々頓首
八月十四日　[illegible]
[illegible]兄様



39.12.21


緘



謹読昨夕之拝悉
忙中只今帰来致候
下され御謝拝節
借換之義ニ付平
速大兄御出之所
尚被下候ハ也且本
沐速ニ御尋訓令
之義相運候様可
候方宜御取計願
新[illegible]御承知之義ニ可有之
不取遠急謹澤ニ付

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 大森[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十月廿日 樗

[illegible]様

副總裁宛

十二月廿八日午後六時

第百三号

政府ヨリ左ノ通発電（第七二八号）

第七四四及第八四四報告到着セリ佛国ノ総理大臣外務大臣及大蔵大臣カ帝国ハ公債募集ノ儀ニ付貴君ニ対シ表セラレタル好意ハ當方政府ノ頗ル満足スル所ナリトシテ又東洋ノ問題ニ関シ取極メタル趣意モ素ヨリ同意スル所ナリ故ニ政府ハ南満ニ於ケル英佛ノ資本家共同鉄道建設権取得ノ件及韓国鐵山ニ関シ尽サントスル

ノ件ニ付貴君ノ報告ニ接スルヤ即刻相当ノ手段ヲ取リタル次第ナリ依リテ貴君ハ前陳ノ次第通当局ノ内様ニ可成備セ大蔵大臣ニ申入レタル可シ帝右東洋問題ノ件ニ付テハ外交上ノ様密ニ属シ両国政府当局者間ニハ既ニ交渉セラレツヽアリ其ノ詳細ハ貴君ノ含マテニ望限傳フ可シ大使ヨリ聞置カレタシ本件ハ絶対ニ秘密ヲ要ス

高橋副総裁へ

十二月二十六日午后八時

発信

加平

去十一月十五日附貴書中西尾銀行監理云々ノ件
小生ハ無論副総裁君ヲ頼ノ外途無之然し此
尚貴信ノ儀ヲ大蔵大臣及元老へモ申上御意
見ヲ伺ヒシニ是又無論従前ノ通兼任セラル、
ガ国家ノ為利益ナリトセラル仍テ是非貴君ニ於テ
引続御兼任ヲ乞フ又目下山川ハ大体
ニ於テ貴君ノ指揮ヲ受ケ事務取扱其他
内外ニ対シ円満ナリ委細ハ郵便
今日山川免シ戸沢、川島ヲ取締役ニ

日本銀行

セヨトノ事ナリ貴君ニ何卒小生ノ意見ヲ
聞ケト返電有之候趣右事件ハ貴君
ニ於テ御異議ナキヤ

(63)

高橋副総裁ヘ

十二月三十日午后一時

発信

よ号

當方電信加号末文返電ヲ俟ツ

日本銀行

高橋副総裁殿

日本銀行

高橋副總裁

一月二十日 午后三時

発信

第二十四号

政府ヨリ左ノ通発電相成タリ

漢口四川間鉄道建設ノ資金供給工事請負ニ付近藤慶平等ガ張之洞ニ運動ヲ試ミツヽアル事ヲ今日ニ至リテ聞込タリ右ニ対シ政府ハ追テ英佛シンヂケートニ合同セシムルカ又ハ其他ノ方法ニヨリ双方向ノ競争ヲ避ケシムル考ナリ尚近藤等運動ノ進度及将来ノ見込等取調ノ上通電ノ処置アルベキニ付夫迄ノ間貴君限ノ御含迄ニ申送ル

高橋則藏

日本銀行

(65)

高橋副総裁へ

奏信　　一月四日午后九時

第三十五号

政府ヨリ左通発電被命タリ

昨年中貿易総数八億四千百万円余輸出

超過四百十二万円余ニ達セリ

日本銀行

謹啓 自日本明治四十年 [illegible]

陽曆十一月 [illegible] 日本四十 [illegible]

[illegible]

[illegible]

謹具　　　　一函 五日午后出發

[illegible]

66

高橋副総裁

發信　　一月五日午前七時

第二十六号

以別紙左ノ通發電被命タリ

第十四回報告送落手

日本銀行

高橋副総裁

日本銀行

高橋副総裁ヨリ

一月十日午前八時

受信

第十九号

拙者独逸滞在中ニモ日本ハ再露国又ハ米国ニ挑戦スル用意ヲ為ス者トノ謬見ヲ持スルモノ官民ノ間ニ多ナルヲ発見シ之ヲ解ニ困難セリ而ノ帰途一月六日巴里ニ立寄四分利付公債発行ノ地盤ヲ作ムコト欲シ大蔵大臣ロスチヤイルド其他ノ人々ニ面談シタルニ意外ニモ佛国ニ於テハ日本ニ野心アリトノ観念独逸ヨリモ一層強クアルヲ発見セリ是ハ軍備拡張ノ噂ヨリ生シタル新疑念ナリ要スルニ佛国政府ハ日本ハ既ニ大金ヲ海外ニ有シ

尚南満州鉄道会社ノ為ト称シ外債ヲ起シ大砲
軍艦等ヲ新ニ注文シ露又ハ米国等ニ対シ
他日戦争ヲ挑ムノ用意ヲ為ス者ナリトノ疑念ヲ
深ク有スル者ナリ目下官民ニ対シ此疑念ヲ解除
スルニ尽力中ナリ又一月九日ニハ佛国外務大臣ト栗
野大使ト面会ノ際ニ付栗野大使ヨリモ主トシテ此
誤見ヲ解クノ事ニ努メ貴事打合ヲ為シ置ケリ
又内々佛国政府ノ事情ヲ探索セシメタルニ露国
政府ハ日本ト満蒙権及通商條約談判ノ
落着スル迄ハ日本ノ公債発行ヲ巴里ニテ援助
セサラシメムトノ同盟ヲ以テ内々運動シ佛国政府ニモ
其旨ヲ通シタルモノヽ如シ而佛国政府ハ全然露
国ノ希望ニ然タルニ非トモ或ハ此談判ニ関シ佛

国ニ仲裁ヲ任セラレタシトノ希望ヲ栗野大使ニ申
出テモ羅斗君ハ右政府ニテ佛国ノ申出ヲ
承認スル事ニ廟議定マリ候ハバ其条件トシ
左ノ二件ヲ佛国政府ニ要求相成度希望致候

一 英貨四分利付公債（一九〇五年迄）ノ内佛国以外ニテ
発行セシ分ヲ巴里株式取引所ノ公定相場表ニ
登載スル事

二 残額四分利付公債ノ発行ヲ本年近ニ実行
シ得ル様佛国政府ニテ好意ヲ表スル事

以上ハ多種ノ事情ノ内密ニ御参考ニ供シ候
件ニ付テ必ス秘密ニ付セラレ度

馬彥川ゟ成[illegible]

(68)

高橋副総裁ヨリ

一月十二日午前六時

電信

第二十号

新公債発行ノ地盤ヲ作ル為メニ倫敦市場ニ於テ此際四分利付公債（又ハ五分）少シク買入ノ必要ヲ生シタルニ付先以テ百万磅丈ケ拙者指図ニテ支払ノ出来ル様ニシテ正金銀行倫敦支店ヘ至急御送相成度奉願候

高橋

高橋副総裁殿へ

日本銀行

(69)

高橋副総裁ヘ

一月十二日午后八時

発信

第三十七号

政府ヨリ左ノ通発電被居タリ
貴電第十九号電報軍備云々ニ関スル疑念ハ明白
ニ解除スルコトニ尽力有之度又日露談判云々ニ付
外務大臣ノ意見ヲ求タルニ右ハ順當ニ進行シツヽアリ
何等解決ニ苦ムモノナシ既ニ先般右談判困難
云々ノ謬報外国新聞ニ見エタル際露国政府ヨリ
ノ申出ニ依リ双方申合ノ上ニテ取消サセタル位
ナリ故ニ本件ニ関シ佛国カ仲裁ヲ申出ヘシトハ
毫モ信セラレズトノ事ナリ右貴君ノ含迄ニ申入候

田[illegible]鑑行

高橋副総裁へ

一月十二日午后八時

発信

第二十八号

政府ヨリ左ノ通発電相成タリ

米電第二十号ノ趣旨ニ照シ各支夫々訓令

致置タリ

日本銀行

高橋副総裁ヘ

一月十二日午后八時

発信

九号

米電第二十号政府ニ於テ認可ノ上本行ニ左ノ通

命令セラレタリ

英貨百万磅其行ヘ売却ノ為メ其行倫敦

代理店ヘ交付於テ条旧来ノ寄托金所属現

英貨又ハ通知預金ノ内ヨリ支出スヘシ

就テハ右金貨運用ハ米電ニ一條於テ米電

第二十号ノ目的ノ為メ必要ニ應シ米電ノ指

図ヲ以テ適宜ニ処分セラルヘシ

日本銀行

高橋副総裁へ

一月十六日午后一廿五分

発信

第二九号

改符号ヲ以テ左ノ通発電被下度候

ミワチエン今日出発ス台湾樟脳ノ功労ニ依リ
勲三等ニ叙セラレタリ実業者ノ横濱市債
ハ昨年内発行見合ノ約束故同人帰朝
ノ上ハ発行ノ企ヲナスヤモ難計本邦金融上ニ申
進度ク

高橋副総裁へ

一月十二日午后七時

発信

第三十号

政府ヨリ左ノ通発電被命タリ
四川漢口間鉄道工事請負及資金供
給ニ関シ益田大倉ノ一派モ張子洞ニ運動
シ試ミツヽアル事ハ今日ニ至リ漸ク知リ其詳細取
調中ナリ之ハ近藤ノ一派トハ別者ナリ

日本銀行

高橋副総裁より

一月十三日 午前十時

電信

第三号

伊国滞在中官民ノ疑念ヲ解キ遂ヘ、ロスチヤイルドヨシテ今后金融市場見定メ得ヘキ節ハ直ニ英国発行分ノ四分利付公債（一九〇五年）ヲ巴里株式取引所ノ公定相場表ニ掲載スルコトニ政府ノ許可ヲ得英仏両市場ニ於ケル市価ヲ平均セシメ引続両市場ニ四分利付公債残半二千五百万磅ヲ発行スルコトニ承諾セシメタリ此ニ於テ第一ノ地盤定マリタレバ一先帰英セリ然ルニ倫敦ニ於ケル四分利付公債（一九〇五年）利落後市価下落シ巴里市価ト大差アリシ為該利困難ニ付

日本銀行

九日手心ニテ倫敦ニテ四分利付公債（一九〇五年）買取
方ゴルドンニ電報致候ニ市価主直拾七同日
本明治四十年度豫算ニ関スル電報タイ
ムスニ現ハレ好評判ニテ日本公債ノ騰貴ハ豫算
満足ノ影響ナリト公認セラレ又一方ニ於テハ売物
アルバート上ヲ買取ニメタルヲ以テ全成功シタリ今后モ引続キ
市価ヲ維持スル丁必要ナレ氏本邦ノ売物ナキ
本年二月ニハ各国金融市場前途モ見極メ候
可申ニ付再ヒ目下出張公定市場掲載ノ件ヲ始
引続キ新発行ノ件モ相談ヨリ進ハ考ナリ就テハ
政府ヨリ栗野大使ヘ訓令ノ内意味ノ内訓相成候
今后適当ノ時機ニ於テ高橋是清ヨリ申出ヘク候
ニ付若実ハ明治三十八年十二月御承認以外ニテ発行セシ

四分利付公債全体若クハ英国発行分ノミヲ世界株式取引所公定相場表ニ掲載スルノ件及四分利付公債残半二千五百万磅ヲ英仏市場ニテ発行スルコト且此発行ハ本年三月頃ノ好時機ヲ失ハサルヲ要スル旨ニ付仏国大蔵大臣ニ会見シ其承諾ヲ求ラレ度委細ハ今便高橋ヨリ書信一応御談スル旨

又既ニ栗野大使ヨリ仏国外務大臣ト会見ノ模様電報相成候通仏国政府ハ露国ヨリ依頼有之為ポーツマース條約ヲ実行シ得ル迄ハ日露講和纏ラスサレハ新発行ヲ承諾スルコト困難ナルニ付何卒此際小利ヲ棄テ速ニ講和締結相成候様希望致候

高橋

日本銀行

(75)

高橋副総裁へ

一月十四日午后六時

発信

第一号

改行ヨリ左ノ通発電被成度シ

米貨公債二千五百万弗募集ニ多大ノ御尽力感謝ノ至ニ堪ヘズ栗野大使ヘノ内訓ハ外交上ノ関係アル故外務大臣ト協議中ナリ

今日参院議員及衆議院議員ニ四十年度豫算ヲ内示ニタル故明日ヨリ新聞ノ論評先方ニ傳ハルベシ誤解ヲ生セサル様注意相成度

日本銀行

西高川高風

日本木鐵行

(76)

高橋副総裁ヘ

一月十六日午后四時

発信

近日

吉井理事ヨリ帰朝致度トノコトヲ頻ニ促シ来レリ

就テハ同人ヘ委細訓電致置タリ該電信

ヲ一覧ノ上同人ヨリ相談アレバ可然御指揮相

成度候

日本銀行

寄信

吉井理事へ

一月十六日午后四时

十二月十三日付貴書了承致候貴君ノ滞在ハ
他日歐米有力者ト交際ヲ続ケタル有力ナル
人物養成上国家ノ為必要ト考ヘヨリ希望
スル次第ナリ且又當行海外保管金ノ監督上
ニモ理事一人滞在ハ必要ヲ感ス今ヤ高橋
副総裁ハ公債借換ノ任務遂行中ニシテ
貴君ガ交際ヲ廣ル上ニ於テ難得好機会ナリ
依リテ少クトモ右借換ノ公債談纏ル迄滞在
ヲ望ム併ナガラ貴君ノ健康ガ許サヽルトノヿ

ナレバ止ヲ得サル義ニ付高橋副総裁ニ於テ帰朝
セラレ候差支無之右大蔵大臣トモ打合済ナリ

総裁

(78)

高橋副総裁ヨリ

一月十七日午前九時付

受信

第二十二号

當方電信第二十号四分五釐利付公債ヲ加ヘル必要アリ認可ヲ請フ

又南満州鉄道会社起債ノ件決定ノ上ハ第一ミニツフニ於テ発行セラルヘキ必要アルニヨリ其畑一件十五日ノ當方電報也ノ認可アリタシ

又有力ナル資本家団体ヨリ左ノ件申出アリ韓国チョーサンヨリカフサンニ至ル地方ノ金鉱探索致シ度所ナリ有望ナル者見當ナキ節ハ現ニオリエンタルマイニング会社ガ経営ト同様ノ条件ニテ採掘権

ヲ図ラレ可申哉大ノ日韓人望マシキハ共同事
業トシテモ差支無之ト云フ右ハ許可セラルヘキ乎
返電奉願度
又政府ノ公債発行ニ関シテハ市債又ハ其他
政府ノ保護アル会社ノ社債談起ラサル様御
注意奉願度

高橋副総裁

一月十七日午后十時

發信

第三十三号

政府ヨリ左通發電依命タリ

貴電第三十三号韓國金鑛ノ事ハ統監ト相談ノ上返電致スベシ市債募集行ニ関スル御注意承知セリ但シ横濱ノ分ハ前電申述ヘシ通本年一月以後ハ發行ノ自由ヲ有スル譯ナルモ貴君御出發前貴君トミッチェルト話合ノ次第モ有之事故ミッチェルハ貴地着ノ上可然交渉セラレタシ尚ホサミユールニ於テ發行ヲナサレト欲スルトキハ豫メサミユールヨリ貴君ニ相談スル様横濱市長ヨリサミユールニ申遣

皆ナリ

高橋副総裁へ

一月十七日午后四時三十分

発信

第三十二号

政府ヨリ左ノ通発電被頼タリ

貴電第二十二号中四分五厘利付公債ヲ加フル

ノ件ハ貴電第三十号ノ金額ノ範囲内ニ

於テ差支ナシ　準之

日本銀行

高橋副総裁ヘ

一月十八日午后一時

深井

第三四号

政府ヨリ左ノ通発電総裁ヘ

米電第二一号ニ関シ当方外部大臣ハ米君申

出ノ通栗野大使ヘ内訓セシメタリ但右訓令ニハ

日露通商条約ト漁業条約トハ可成決定ヲ

急クヘキモ外交問題ハ右ニ止マラス今後モ亦續出

スヘキナレハ悉ク之ガ解決ヲ待テ公債発行ヲ

算儀スルトスルニ於テハ際限無之事故佛國

政府ガ公債発行前ニ決定ヲ必要トスルハ前

記二条約ニ限ルヤ否ヤ先以テ栗野大使ヨリ

佛モ政府ハ確ニ其旨ヲ申傳ヘタリ就テハ貴官
ハ栗野大使ト詳細ニ打合ヲナシ両国政府ノ
意思疏通シ互ニ諒解有之様配慮アリタシ

(82)

オテ 六四ノ手 ス

高橋副総裁へ

一月十九日正午

発信

乙号

山川ヨリ申出タル三嶋ヲ副頭取ニ選任ノ件井上伯ニ内伺セシニ此際ハ先平ノ取締役トシ副頭取ノ事ハ他日ニ譲リ其方可然トノ御意見ナリ大蔵大臣ニモ同様意見又小生モ右ノ方可然ト考ヘ申候

貴意如何返電ヲ待ツ

日本銀行

日本銀行

高橋副総裁ヨリ

一月二十日午前六時

受信

ト号

来電モ号ノ趣諒承　御意見ノ通ニテ異

存無之

日本銀行

高橋副総裁へ

一月廿二日午後五時

参代

一口ナリ

明治三十九年下半季ニ於ケル損益ハ純益金一千百四十三万円余 損失 五百五十三万円余ニシテ差引五百九十万円余ノ内 百三十七万円余ハ公債評価損ノ償却 償却 百六十八万円余ハ四十年上半季ニ越ス支払義務ニ対シ 後期繰越 再差引二百八十五万円余 純益トナル之ニ三十九年上半季ヨリ繰越八十三万円余ヲ加ヘ 三百六十八万円余 利益金

右ノ配当案ハ 百八十万円ハ株 六十五万円ハ積立 十九万三千円ハ交際費 百弐万円余ハ後半季ヘ

繰越ニセルトス（貴重器）右ノ外ニ凡百九十五円余ハ三十九年
下半季ノ収益未納ニシテ四十年上半季ニテ収入
シ即本期ノ益トナルモノナリ
右ハ三十九年下半季ノ概況ニシテ先可成ノ計算
トセリ御同様ニ慶賀ノ至ナリ

一金千百四拾参萬参千百九拾五圓九銭九厘　総益金

一金五百五拾参萬弐千五百参拾参圓拾四銭九厘　総損金

差引金五百九拾萬六百六拾壹圓九拾五銭

内

金百参拾七萬七千参百拾七圓参拾八銭　公債証書價格消却

金百六拾八萬七、

再差引金弐百八、

外、

金八拾参萬六百

合計金参百六拾六

配當案

日本銀行

一金千百四拾参萬参千百九拾五圓九戔九厘　総益金

一金五百五拾参萬弐千五百参拾参圓拾四戔九厘　総損金

差引金五百九拾萬六百六拾壹圓九拾五戔

内

金百参拾七萬七千参百拾七圓参拾八戔　公債証書價格消却

金百六拾八萬七千五拾四圓参戔　支拂義務ニ對シ後季ヽ繰越

再差引金弐百八拾参萬六千弐百九拾圓五拾四戔

外ヽ

金八拾参萬六百九拾九圓八拾壹戔六厘　前季繰越金

合計金参百六拾六萬六千九百九拾圓参拾五戔六厘

配當案

日本銀行

後季ヽ繰越

一金参萬九千五拾

一金五拾八萬九千七百

一金弐拾弐萬九千参

一金七拾壹萬八千九

一金拾壹萬圓

合計金百六拾八萬七

九拾五圓九銭九厘　総益金
百参拾参圓拾四銭九厘　総損金
百六拾壹圓九拾五銭

百拾七圓参拾八銭　公債証書價格消却
拾四圓参銭　支拂義務ニ對シ後季ヘ繰越
萬六千貳百九拾圓五拾四銭

拾九圓八拾壹銭六厘　前季繰越金
六千九百九拾圓参拾五銭六厘

留案

日本銀行

後季ヘ繰越金内訳
一金参萬九千五拾壹圓九拾銭　政府当座預金及別口政府当座預金利息
一金五拾八萬九千七百四拾参圓拾五銭　兌換券發行税
一金貳拾貳萬九千参百貳拾九圓九拾八銭　兌換券制限外發行税
一金七拾壹萬八千九百貳拾九圓　期日前大蔵省証券割引歩合
一金拾壹萬圓　期日前割引手形歩合
合計金百六拾八萬七千五拾四圓参銭

金九拾萬圓　定例割賦金

金六拾五萬圓　積立金

金拾九萬参千圓　役員賞与及交際費

金九拾萬圓　再割賦金

金百貳萬参千九百九拾圓参拾壱銭六厘　後季繰越高

高橋副総裁ヨリ
一月二十三日午前六時
来信
七号
貴方電信御同慶 極メテ御同意

日本銀行

(86)

土方理事ヨリ

一月十六日午后六時

一月十七日午前九時

着信

第九十九号

御電報ノ趣領承御心配ヲ掛ケ恐縮ノ至極

猶副総裁ト協議委細ハ郵便

日本銀行

日本銀行

高橋副総裁ヘ

一月二十四午前六時

電信

第二十三号

此際市場金融緩和ヲ計リ且ツ一二八日本公債ニ景気ヲ添ユル手段トシテ政府案払戻シノ内ヨリ六分利付公債二百万磅位迄静ニ買入ル利廻リ五分以上ニ相当スベシ御採用相成節ハ代理店及盟理事ヘ秘密訓令相成度

高橋副総裁へ

日本銀行

高橋副総裁ヘ

発信　一月二十四日午后八時

第三十五号
政府ヨリ左ノ通発電致候條ヨリ
英貨第二十三年鐵道六分利付公債二百万磅
ヲ限リ諸ニ買入ノ件思召至急夫々訓令乞フ

高橋副議長

高橋副総裁ヘ　松尾

一月二十四日午后八時

発信

以号

貴電第二十五号政府ニ於テ認可ノ上本行ニ左ノ通

命令セラレタリ

英貨二百万磅其内一半部ノ為メ其行

倫敦代理店ヘ交付ス余旧来ノ寄託金

所属現英貨又ハ証金ノ内ヨリ受領スヘシ

就テハ右金員運用ハ貴君ニ一任スル条貴電

第二十五号ノ目的ノ為メ必要ニ應シ貴君ノ指図

ヲ以テ適宜ニ処分セラルヘシ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

1四 11十日 [illegible]

[illegible]

[illegible]

高橋副総裁ヨリ

一月二十五日倫敦発

来信

第二十四号

当方電信第二十号ノ貸金更ニ百万磅御手配奉願度且右貸金全額ヲ日本公債担保貸金ト為ス事御承認奉願度

高橋副総裁

日本銀行

(91)

高橋副総裁

発信　　　　　　一月二十五日午后四時三十分

第三十六号　改行アリ左ノ通電報訂正ス

貴電第二十四号領収中出ノ件総テ異存無之夫々訓令ス

以上の通り相違ない

[illegible]

[illegible]

前同日

[illegible]

[illegible]

高橋副総裁ヘ

一月二十五日午后四時卅分

発信

本月ノ

来電弗二千四百万ノ政府ニ於テ認可ノ上本行ニ左ノ通

命令セラレタリ

英貨百万磅其行ヘ売却ノ為其行借款

代理店ヘ交付スル条旧来ノ寄託金所属

現英貨又ハ預金ノ内ヨリ使用スヘシ

就テハ右金ノ運用ハ貴君ニ一任スル条貴電弗

二千四百万ノ目的ノ為必要ニ応シ貴君ノ指圖ヲ以テ

適宜ニ処分セラルヘシ

日本銀行

高橋副総裁

一月二十六日午后九時

発信

第三十七号

政府ヨリ左ノ通発電被命タリ

佛獨両国ニ於テ鐵道抵當ニテ巨額ノ露国公債発行ノ協議ナリタリトノ電報當地新紙ニ達セリ甚タ疑ハシキモ何等カ形跡ナキヤ又當方公債借換ノ仕事ニ影響ナキヤ御問合ニ及ブ

日本銀行

高橋副総裁殿

日本銀行

高橋副総裁ヘ

一月二十八日午前十一時

受信

第三十五号

当方発電信第三十七号ノ件事実ニ非ズト信ズ
数月前露国政府ノ或鉄道ヲ外国人ニ売却
スルトカノ意見ヲ立テタル者アリシモ之レ空想ニ過キ
ズ現今露国公債ハ同国国会再開会後国情
安定トナルニ非レバ多益ノ話柄ト認メラルルガ如シ
尚探索ヲ怠サル可シ